

『ふしぎなカビ オリゼー 千年の物語』

～和食をささえる微生物～

竹内 早希子／著 岩崎書店



オリゼーは「麹菌」「ニホンコウジカビ」とも呼ばれるカビの一種です。日本では遥か昔、千年以上前からオリゼーを大切に育ててきました。カビを育てる？と驚くかもしれませんが、麹菌は味噌・しょうゆ・みりん・お酒など、毎日の食卓でおなじみの調味料作りに欠かせないカビなのです。千年の物語をのぞいてみてください。



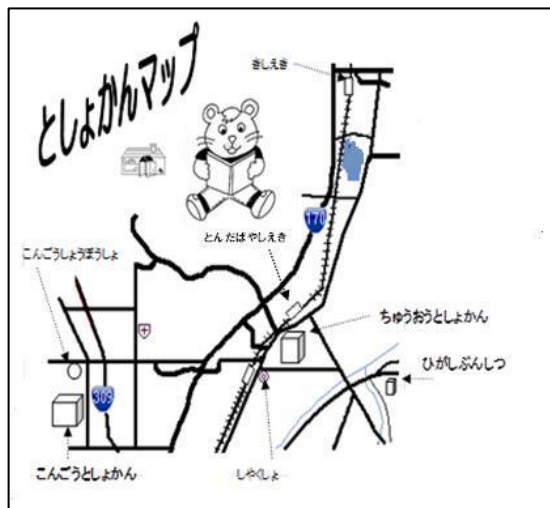
『航空会社図鑑—未来をつくる仕事がある—』

日本航空／監修 青山 邦彦／絵

日経BPコンサルティング



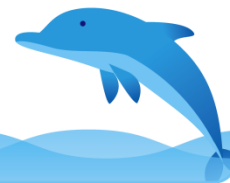
航空会社では、たくさんの人たちが働いています。みんながよく知っているパイロットやキャビンアテンダントの他に、グラウンドハンドリングという飛行機が出発するまでの準備をする仕事もあります。点検・修理する航空整備士や、航空券の予約・販売をする人も必要です。そんな仕事をのぞいてみませんか。



夏のおてがみ

中学生のみなさんへ

夏休みは何して過ごす？
海や山に行くのもいいね。
本の世界へ冒険に
でかけてみるのも楽しいよ。
ぜひ、図書館にも来てね。



『命のダイヤル』 赤川 次郎／著 汐文社

「僕は今夜十時半に死ぬ」河本美津子のもとにかかってきた一本の電話。美津子の上司である鳥崎係長が突然そんなことを言い始めた。十時半まであと三時間しかない。美津子は妹の理沙とともに鳥崎を助けようと駆け巡る！
他3編が収録された心優しいミステリー短編集。

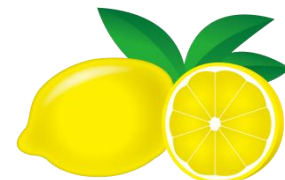


『レモンの図書室』

ジョー・コットリル／作

杉田 七重／訳

小学館



カリブソは1人で本ばかり読んでいた女の子。ママを亡くし心を閉ざしたパパを支えながら暮らしていた。パパの「強い心を持って」という教えに、「わたしはだいじょうぶ」と言い聞かせて。そんなある日、本好きの転校生メイと出会う。抑えていた気持ちが解放されていくような楽しい毎日。パパとの生活にも変化が訪れた。



『ヤイレスーホ』 菅野 雪虫／著 講談社

父親と二人で暮らしていたランペシカ。ある夜、狩りに出た父親が高い木から落ちて亡くなります。ランペシカは父親の友人ムカルに引き取られ、ひどい扱いをうけます。そんなある日、ムカルの変装で父親が亡くなった事を知り、魔物のヤイレスーホに会いに行きます。ふれたものが凍る「呪い」！
授けてもらうためです。



『13歳までにやっておくべき50の冒険』

ピエルドメニコ・バッカラリオ／著

トンマーゾ・ペルチヴァーレ／著 有北 雅彦／訳

アントンジョナータ・フェッラーリ／絵

NPO法人国際自然大学校 佐藤 初雄／監修

太郎次郎社エディタス

きみはどこでも自己主張できるタイプ？それとも引込み思案？夏休みは長い。ぜひ、この本を手にとって、50の冒険に出かけよう。たとえばミッション11「危ないところでねむってみよう」夜の闇の中で、木のゆれる音、虫の声など、いつもは見過ごしがちな音も聞こえてくる。さあ冒険に出発！
新しい自分に出会えるよ。



『映画ってどうやってつくるの?』

フロランス・デュカトー／文
シャンタル・ペタン／絵
大久保 清朗／日本語版監修
野坂 悦子／訳 西村書店



昔から娯楽として親しんできた映画は、どのようにして作られているのでしょうか? 1コマずつの白黒フィルムから始まった映画づくりは、今では映像はデータに記録され、3Dの時代へとその技術は発展し続けています。この本は、撮影前、撮影スタジオ、撮影後に分けて映画に関わる様々な仕事を楽しいイラストで解説した絵本です。



『コンピューターってどんなしくみ?』

村井 純・佐藤 雅明／監修 誠文堂新光社

みなさんパソコンやスマホは持っていますか? YouTube、Twitter、Facebook などを見たり使ったりしている人も多いでしょう。今やコンピューターはなくてはならないものです。でも、コンピューターのしくみは意外と知られていません。コンピューターの中身や、プログラムの基礎、SNSで自分の身を守るコツなど、いろいろな情報がのっています。



『命の水 チェコの民話集』

カレル・ヤロミール・エルベン／編
出久根 育／画 阿部 賢一／訳
西村書店

チェコはヨーロッパの古い町並みが今も残る、中欧の美しい国です。この本は、そんなおとぎの国のような風景が残るチェコや、チェコ近隣諸国に伝わる民話をまとめた1冊です。民話だけでなく、土地ごとの風習なども紹介されています。1冊を通して、ただ美しい情景というだけでなく、どこともなく不気味な雰囲気漂います。不思議の国チェコの世界感を、幻想的な挿絵とともに楽しみください。



『なぜこうなった?あの絶景のひみつ』

増田 明代／文・構成
山口 耕生／監修
講談社



空の中を自転車で翔けるような写真、見たことがありますか? ボリビアのウユニ塩湖です。標高3700メートルなのに、もともとは海底だったというから地球って不思議ですね。この本は、見開きで各国の絶景と、それがどうして出来たのかが載っています。トルコやアラスカ、タンザニアの真っ赤な湖…。どの国に行きたくなるかな?



『火星を知る!』

吉川 真／監修 三品 隆司／構成・文
岩崎書店

火星は、数ある星の中でも観測しやすく、太陽系惑星の中で最も地球に似ていると言われる身近な星です。この本は、現在わかっている火星のデータや観測の歴史といったまじめな話から、フィクションの火星人の話まで、様々な角度から火星を解説しています。まだわからないことも多い火星には、たくさんの可能性がありますね。



『発明家になった女の子マッティ』

エミリー・アーノルド・マッカーリー／作
宮坂 宏美／訳 光村教育図書



マーガレット・E・ナイトという人物を知っていますか? マッティと呼ばれた彼女は、数々の発明で特許を取り、女エジソンと呼ばれました。女性は家庭に尽くすべきという時代、小学校までの教育しか受けられず、せっかく作った発明を横取りされそうになったりしながらも、アイデアと努力を武器に生きた発明家の实际の話です。



『物語 北欧神話(上・下)』

ニール・ゲイマン／著
金原 瑞人・野沢 佳織／訳 原書房



北欧神話を知っていますか? 北欧神話には失われた物語も多く、わからないこともたくさんあります。言い伝えや再話、詩、散文などで受け継がれてきたものが今も一部だけ残っています。この本では、北欧の神々の世界を物語として語りなおしています。用語集もあるので、初めての人にも手に取りやすくなっています。

